

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 12 月 26 日 (2013.12.26)

【公開番号】特開 2012-51819 (P2012-51819A)

【公開日】平成 24 年 3 月 15 日 (2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報 2012-011

【出願番号】特願 2010-193859 (P2010-193859)

【国際特許分類】

C 07 C 51/60 (2006.01)

C 07 C 57/76 (2006.01)

【F I】

C 07 C 51/60

C 07 C 57/76

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 11 月 13 日 (2013.11.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

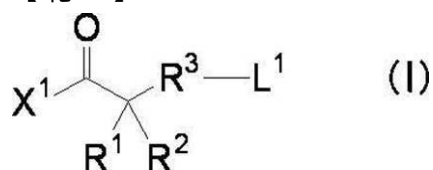
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

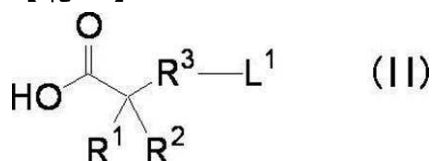
下記一般式 (I) で表される化合物を、塩基性化合物、および下記一般式 (IV) で表される化合物と反応させることにより、下記一般式 (II) で表される化合物を得る工程と、下記一般式 (II) で表される化合物を、酸ハロゲン化剤と反応させることにより、下記一般式 (I) で表される化合物を得る工程と、を含む酸ハロゲン化物の製造方法。

【化 1】



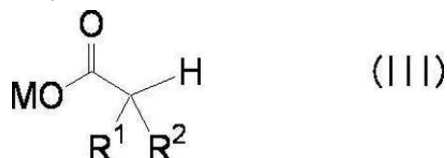
一般式 (I) 中、 R^1 及び R^2 は、それぞれ独立に、アルキル基、アリール基、アルケニル基、アルキニル基、及びヘテロ環基からなる群から選ばれた基を表す。 R^3 はアルキレン基を表す。 X^1 はハロゲン原子を表す。 L^1 は脱離基を表す。

【化 2】



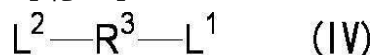
一般式 (II) 中、 R^1 、 R^2 、 R^3 、及び L^1 は、前記一般式 (I) における R^1 、 R^2 、 R^3 、及び L^1 とそれぞれ同義である。

【化 3】



一般式 (III) 中、 R^1 及び R^2 は前記一般式 (I) における R^1 及び R^2 とそれぞれ同義である。M は水素原子、または金属原子を表す。

【化 4】



一般式 (IV) 中、 R^3 及び L^1 は前記一般式 (I) における R^3 及び L^1 とそれぞれ同義である。 L^2 は脱離基を表す。

【請求項 2】

前記一般式 (III) で表される化合物を、前記塩基性化合物、および前記一般式 (IV) で表される化合物と反応させることにより前記一般式 (II) で表される化合物を得る工程が、前記一般式 (III) で表される化合物を、前記塩基性化合物と反応させて下記一般式 (III-2) で表されるエノラートを中間体とする工程、および得られた該一般式 (III-2) で表されるエノラートを前記一般式 (IV) で表される化合物と反応させる工程を含む請求項 1 に記載の酸ハロゲン化物の製造方法。

【化 5】



一般式 (III-2) 中、 R^1 、 R^2 、及び M は、前記一般式 (III) における R^1 、 R^2 、及び M とそれぞれ同義である。

【請求項 3】

前記一般式 (III) で表される化合物を、前記塩基性化合物と反応させて下記一般式 (III-2) で表されるエノラートを中間体とする工程における温度が、 $-30 \sim 70$ の範囲である請求項 1 または請求項 2 に記載の酸ハロゲン化物の製造方法。

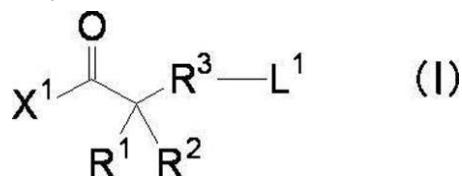
【請求項 4】

前記一般式 (III-2) で表されるエノラートを前記一般式 (IV) で表される化合物と反応させる工程における温度が、 $-70 \sim 20$ である請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか 1 項に記載の酸ハロゲン化物の製造方法。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 請求項 4 のいずれか 1 項に記載の製造方法により得られた下記一般式 (I) で表される化合物。

【化 6】

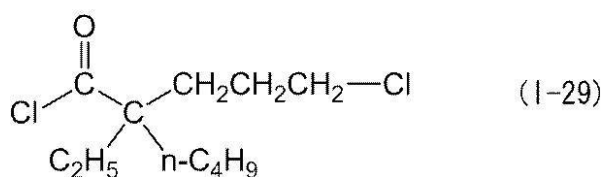
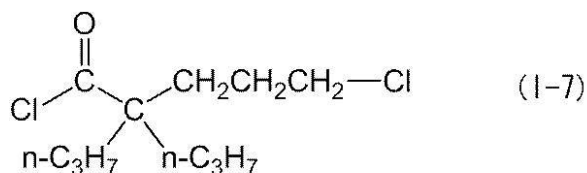
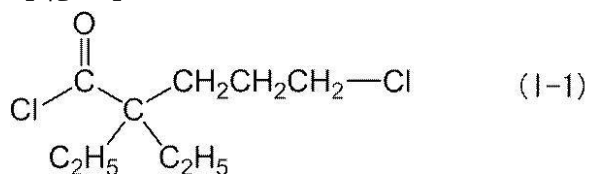


一般式 (I) 中、 R^1 及び R^2 は、それぞれ独立に、アルキル基、アリール基、アルケニル基、アルキニル基、及びヘテロ環基からなる群から選ばれた基を表す。 R^3 はアルキレン基を表す。 X^1 はハロゲン原子を表す。 L^1 は脱離基を表す。

【請求項 6】

下記化合物（I - 1）、化合物（I - 7）、及び化合物（I - 29）から選ばれた 1 種の化合物。

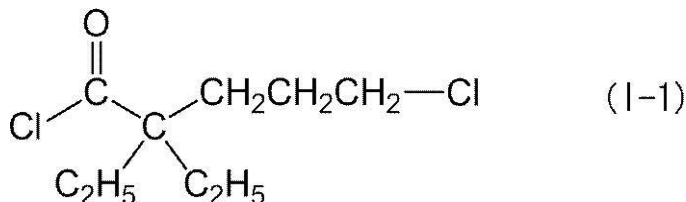
【化 7】



【請求項 7】

下記化合物（I - 1）。

【化 8】



【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

一般式（I）中、 R^1 及び R^2 は、それぞれ独立に、アルキル基、アリール基、アルケニル基、アルキニル基、及びヘテロ環基からなる群から選ばれた基を表す。 R^3 はアルキレン基を表す。 X^1 はハロゲン原子を表す。 L^1 は脱離基を表す。

< 6 > 後述の化合物（I - 1）、化合物（I - 7）、及び化合物（I - 29）から選ばれた 1 種の化合物。

< 7 > 後述の化合物（I - 1）。